

光学蛍光顕微鏡を用いた

高倍率観察(固定細胞・生細胞)技法の紹介について

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は格別のご愛顧お引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。弊社取扱いDeltaVisionは、微細画像情報を要望される国内外の研究者の方々に高く評価され、1,400件以上の論文発表があり、著名学術誌の表紙を度々飾っております。この度、長崎大学様において微細な計測を行う上での、高倍率観察技法について、ビデオ画像を含む同機での技術紹介セミナーを開催する運びになりました。

是非この機会に普段の計測での画像解像度の改善や生細胞の分裂プロセスや分子動態等のダイナミック動態計測法について、新たな情報入手の場となれば幸いです。何卒宜しくお願い申し上げます。 敬具

記

日 時：平成21年11月12日(木) 15:00より

場 所：長崎大学 先端生命科学研究支援センター 施設2階 セミナー室

参加ご連絡先：長崎大学 先端生命科学研究支援センター 遺伝子実験施設

施設受付 濱崎

TEL:095-8197-7191 grc@ml.nagasaki-u.ac.jp

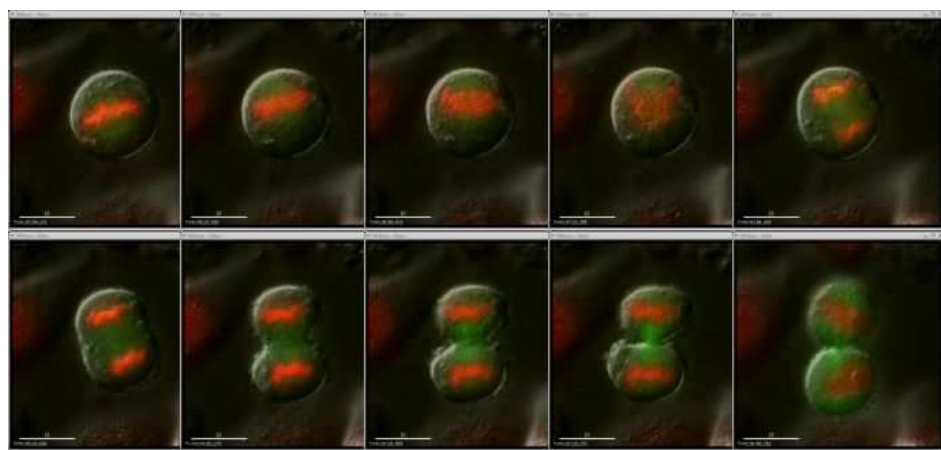
問い合わせ先：セキテクノ株式会社 科学機器部バイオ計測 G 根本 隆治

TEL:070-6948-2059 E-mail:tnemoto@sekitech.jp

装置特長

- デコンボリューション技法により、共焦点レーザー顕微鏡のように非焦点から発生するボケをピンホールの絞りにより除去するのではなく、本来あるべき微弱な焦点シグナルを消失すること無く復元し、2D/3Dでの高分解能画像計測が行えます。
- 光源にレーザーを使用していない為、蛍光が微弱な微細領域で退色の少ない画像を得たい場合や、生細胞観察での露出や光毒性を抑えたい測定などに大変有効です。

【Hela細胞(分裂プロセス)】



Red: DNA(Hoechst 33342), Green: Microtubules(GFP), DIC (Cell Membrane)



Personal DV 装置

画像ライブラリー

Hela 細胞	XLK2 細胞	神経成長円錐 (Helisome Neuron)	HEK293 Cell(Rat)	HIV-1 ウィルス (Hela 細胞)	牛肺臓内皮細胞 BPAE Cell	腎臓組織 Mouse Kidney
青:INCEPT 緑:AuroraB(GFP) 赤:Microtubules 白:DNA Paul Andrew 博士	赤:Microtubules 青:Actin 白:DNA Paul Andrews 博士 (Dundee 大学)	緑:Actin filament Chris Cohan 博士	赤:Potassium Channel 緑:Cortactin 青:ActinFilament Tony Morielli 博士 (Vermont 大学)	青:Nucleus 緑:HIV 赤:Microtubules Thomas Hope 博士 (Slat Institute)	青:DNA 緑:F-Actin 赤:Mitochondrion Robert Zucker 博士 (Dundee 大学)	青:DNA 赤:Filamentous Actin 緑:Glomeruli tubules